

山ぼうし

第29号 平成19年 8月31日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



成功の扉を開けるためには、
押すか引くかしなければならない

校長 兼 平 栄 補

標題の言葉はユダヤの格言である。成功の扉は自動開閉式ではないから、開けるという明確な意志がなければ開けることが出来ない。それなのに、どこかで、いつかその扉が自分のために開くと思っていないだろうか。また、人が開けてくれた扉からただ中に入っていないだろうか。

人からされることばかりに慣れてしまうと、最後に行き詰まってしまう。

最近、なんでもない普通の子が突然キレて周囲を驚かせる事件が相次いでいる。突然キレるのは、何をどうすればよいかわからなくなり、いわば自分を見失っている状態である。それは、たぶん、普段周囲から面倒を見てもらうことが多く、自分の好むことだけを行って、困難な場面に直面しても自分から問題を解決するという体験をせずに、すべて周囲が問題の処理をしてきたために、または問題の処理を避けてきたために、自分では解決の手法がわからず爆発するのだろう。

人からされることに慣れると、自ら動こうとせず、最後に行き詰まってしまう。

3年生は、いよいよ就職試験が始まる。雇用側が最も重点を置くのが面接試験である。

志望の動機の記事表現から、面接での対応の仕方などをすべて他人まかせにしてはならない。辛口で鳴らすF社の社長T氏は、「面接練習をしてきた結果、面接をしても受験者全員、型にはまった同じような返答が並び、面接する意義が薄れてしまう。そして入社させてから会社に合わないことが分かり、採用を後悔することになる。会社にとっても損失であるし、当人にとっても気の毒だ。」と嘆いていらした。

面接の練習は大事である。しかし、他人が考えた志望の動機を暗記して、そのまま一字一句同じように面接で述べるようなことでは、合格は覚束ない。

様々な助言は取り入れても、最後には自分の言葉で意思表示ができるようにして欲しい。それには、「敵を知り、己を知れば百戦危うからず」である。受験先について熟知すること（求人票に書いていないことも）、そして自分自身について十分把握することが大切である。

日常生活においても、家族や先生に必要な以上に依存することは自分にとってマイナスである。何事も主体的に生きて、結果責任を自分で負う人生でありたい。

○新任ALT紹介



名 前 : シャンタル・ムーア
出身地 : カナダ (バンクーバー)
大 学 : クィーンズ大学
年 齢 : 26才
趣 味 : バスケットボール, タップダンス

シャンタルは、旅行も趣味で札幌や広島に行ってみようと思います。宮古の印象は、海に面した素敵な町とのこと。

9月行事予定

9月 3日 (月) 献血
9月 6日 (木) ~ 11日 (火) 第二期定期試験
9月13日 (木) 健康講演会
9月14日 (金) 基礎製図検定
9月16日 (日) 就職試験開始
9月19日 (水) ~ 20日 (木) 大掃除
9月21日 (金) 特別休業日
9月27日 (木) 校内ロボット競技大会
9月29日 (土) PTA研修旅行
9月30日 (日) 電気工事士技能試験

<地区PTA日程>
9月 3日 (月) 津軽石地区
9月 4日 (火) 宮古東部、宮古西部地区
9月 5日 (水) 山田、岩泉・田野畑地区
9月 6日 (木) 宮古中部地区
9月 7日 (金) 河南、新里・川井地区
9月 8日 (土) 重茂地区

一日体験入学行われる

今年度も、宮古市内はもとより、遠くは田野畑までの近隣の中学校17校から、169名（内女子9名）の生徒をかえ、7月27日（金）に、一日体験入学が実施されました。

3科体制になって2年経過しましたが、4科の時と変わらない多くの中学生が参加してくれましたし、宮古工業高校に対する関心の高さをうかがう事ができました。

体験入学の内容は次の通りです。

1 体験入学式

校長挨拶や映像を使った概要説明。

また、太鼓部による歓迎の演奏

2 各科体験

① 機械科

「機械加工の方法実演・課題研究作品・アイデアロボット」等

② 電気電子科

「電気工事の実演・リニアモーターカー及び鉄道模型・アイデアロボット」等

③ 建築設備科

「自動制御実習実演・CADの実演・流量測定の方法」等

3 部活見学・解散

各学科とも、在校生が中心となって学習内容を説明したり体験の指導を行います。その事によって「先輩方はとても親切だし、やる気も持っていて良い雰囲気だ。」という感想も寄せられました。補助をしてくれた生徒たちは、本当に立派にやってくれたと思います。そして、多くの中学生が本校を希望してくれることを願います。

終わりに、アンケートの結果を少し紹介します。

〈参加した動機について〉

1 工業高校への入学を希望している。 41.8%

2 まだ決めてはいないが、工業高校を理解し参考とするため。 54.5%

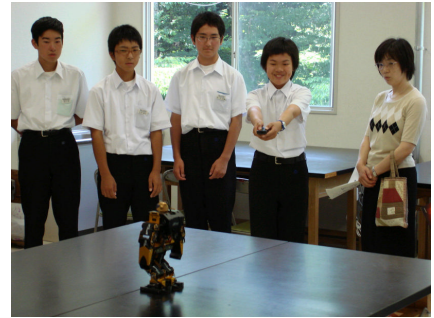
〈どのような学校であるかわかりましたか。〉

1 よくわかった。 65.5%

2 少しわかった。 34.5%

〈自由記述〉

- ・工業はすべての科が実際にものづくりに携わりみんながそれを楽しんでいるように見えた。
- ・優しくそうな先輩が沢山いて、とても良い学校だと思った。
- ・先輩が将来へ向かって、やるべき事を必死になって取り組んでいるのを見て、見習っていこうと思った。
- ・宮古工業高校は就職率が高いところに興味を持った。
- ・駅から思っていたより遠かった。



熊坂市長「工業振興と語る」

8月24日（金）6校時に2年生109名を対象とした市長講演が行われました。「工業振興～宮古モデルを目指して～」という演題の元、宮古市の産業の推移や減税宮古市の製造の軸となるコネクタや金型の説明をいただきました。

市長の話は次の3点が軸になっていました。

1. 宮古スタイル

宮古のコネクタ産業は全国3位の出荷実績を上げている。コネクタという小型部品を技術の向上と抱き合わせて、地方の不利を跳ね返している。



2. 人材の確保と育成

産業の質を高めるには人材力が不可欠。その為に宮古市で「寺子屋」を開き地域協力や産業支援を行っている。

3. 産官学の連携

宮古技術専門校で金型科を興したり、社会人大学院の開設など、産業と行政と学校等の連携により工業の振興をねらっている。

高校生には難しい話しも多かったのですが、熱心な拝聴に、市長も喜んでおられました。